

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	①力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり	⑤多文化共生	①	グローバル化に対応する人づくり

事業名	フカキ夢・ひとづくり事業	担当課名	政策推進課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
深喜人材育成基金条例に基づき、自分で考え行動を起こせる人材の育成を図るため、研修の参加者に対して奨励を行うことにより、市政の発展向上に寄与されるであろう人材の育成を図る。
(事業概要等)
深喜人材育成基金を活用し、国際化、グローバル化が進展するなかで、国際的な視野を持ち、自分で考え行動を起こせる人材を育成するため、市内在住の中・高校生等を対象に、研修の実施及び助成を行う。受講者の決定については、公募に対して応募した者から選考する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,533	1,153	1,068	2,666	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
研修受講者数	人	27	19	14	25
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
参加者からは、「以前より積極的に発言できるようになった」「受講後も習ったトピックについて自分で調べるなど考えを深めることができた」「難しい問題でも、解決方法を考えることが楽しいと感じた」などの声をいただき、積極性やコミュニケーション能力、問題意識の醸成につながる事業実施ができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	研修の啓発事業では、グローバル人材育成に関する講演会を開催し、さらに、過去参加者から実体験に基づく報告会を行った。改めて本事業の目的や研修内容を助成対象者のみならず、広く市民にお伝えすることができた。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	新規受講生獲得に向けて、さらなる認知度向上を図る必要がある。
--------	--------------------------------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	プログラムの充実を図るため、集中講座(イングリッシュキャンプ)を例年の春に加え夏にも実施し、より多くの方に参加してもらえる機会をつくる。また、過去参加者に対する周知も実施し、過去参加者からの口コミにより事業を知ってもらうよう努める。 引き続き、プログラム内容をより魅力的なものにできるよう、事業提供会社と連携し内容の充実・改善を図る。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	①力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり	⑤多文化共生	②	多文化共生をめざすまちづくり

事業名	国際交流事業	担当課名	政策推進課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市における国際化・多文化共生の推進に向けて、市内に在住・在勤・在学する外国人と市民の交流活動を推進する。また、市内に在住・在勤・在学する外国人が生活する上で最も重要となる日本語の学習環境を充実させるために、市内日本語教室に助成を行う。
(事業概要等)
市民と市内に在住・在勤・在学する外国人などの交流の機会を作り、多文化共生のまちづくりをめざす。市内に在住・在勤・在学する外国人など日本語の学習を求める者に対し、個人又は団体がボランティアで実施する日本語教室教育事業に補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	45	135	69	25	R4.R5はホームステイ・ホームビジット事業費を含む
うち市負担分(千円)	45	135	69	25	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
補助金交付団体	団体	2	2	2	-
日本語教室で学習した生徒数	人	33	80	86	80
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
市内在住・在勤・在学外国人が日本で生活する上で重要となる日本語を身近に学習する場を提供することができた。 泉大津国際交流協会と連携し、日本語ボランティア養成事業を実施することで、日本語教室で日本語を教えるボランティア数を増加させることができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	多文化共生をめざすまちづくりに向け、市内日本語学校(ファースト・スタディ日本語学校)と連携し、各イベントの周知を行うことが出来た。 担い手の高齢化等の問題がある市内日本語教室のあり方を見直すため、国際交流協会内への移行準備を行った。
--------------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	市内日本語教室の担い手の高齢化
--------	-----------------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	本市のさらなる国際交流の推進に向け、事業のあり方や手法等を見直す必要がある。 ホームステイ・ホームビジット事業については、市民と外国人留学生の交流の機会となっていることから引き続き実施する。また、市内日本語教室及び泉大津国際交流協会、その他市民公益活動団体等と連携し、委託等事業のあり方や組織の編成を行う。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	①	健康づくりの推進

事業名	ヘルスケアデータ基盤構築事業	担当課名	政策推進課
-----	----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちを目指し、市民の健康意識の醸成、行動変容を促し、生活の質の向上と健康寿命の延伸を実現することを目的とする。
(事業概要等)	スマートフォンアプリにより、運動、栄養に関する自身の健康状態を統合的に見える化し、その人にあった健康向上プログラムを提供することにより、市民が未病予防対策を主体的に実践し、病気にならない身体づくりに取り組めるよう支援する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	-	-	14,429	9,806	
うち市負担分(千円)	-	-	7,267	9,806	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
アプリのダウンロード数(累計)	ダウンロード数	-	-	202	1,500
アプリと連携を想定した健康イベントへの参加者(累計)	人	-	-	180	300
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
スマートフォンアプリ「いずみおおつ マイ・レコ」を整備し、アプリを使って健康づくりを体感してもらうモニターを3期に分けて募集して、測定会等を実施する事により、市民のヘルスリテラシーを高め、未病予防対策を主体的に実践できる環境づくりに寄与した。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	測定会が終わった後も、継続してアプリを利用し、未病予防対策を実施してもらう必要がある。また令和5年度はモニターとして限定した市民にアプリを公開したが、事業目的を達するには、より多くの市民にアプリを利用してもらう必要がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちづくりの実現に寄与し、未病予防対策先進都市をめざし制定された「泉大津市健康づくり推進条例」による目指す姿を実現するにあたり、スマートフォンアプリを通して自身の健康状態を統合的に見える化し、市民が未病予防対策を主体的に実践できるよう、継続して支援していく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	①行財政運営	③	行政改革の推進

事業名	業務改革推進事業	担当課名	政策推進課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
少子高齢化に伴う社会構造の変化や増加する自然災害への対応など、自治体の担う役割が増大することが予想される昨今の情勢において、これらに対応するための業務改革を推進し、市民サービスの維持・向上を図ることを目的とする。
(事業概要等)
業務の棚卸しの結果に基づき、庁内における事務のIT化、アウトソーシング、事業の統廃合等を実施し、業務の効率化を図る。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5,793	6,182	7,182	12,060	
うち市負担分(千円)	5,793	6,182	7,182	12,060	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
業務量削減時間	時間	104	104	243	270
オンライン申請手続き新規導入数(Grafferスマート申請)	件	41	46	54	60
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
新規で2業務(4シナリオ)にRPAを導入し、業務効率化を図った。また、令和2年度より各種申請のオンライン申請の導入を推奨しており、令和5年度単年では54の手続き、オンライン申請導入後は延べ約140の手続きにオンライン申請を導入した。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	オンライン申請サービスにおいて、電子決済機能を導入し、各種手続きの更なるオンライン化を図った。
--------------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	オンライン化可能な行政手続きを整理し、市民サービスの向上・業務効率化の観点からも、全庁的に行政手続きのオンライン化を推進する必要がある。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	オンライン化可能な行政手続きを整理し、行政手続きのオンライン化を推進するとともに、RPAをはじめとしたデジタルツールを活用し、市民サービスの向上および業務効率化を図る。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営に基づく市民サービス	①行財政運営	④	総合計画に基づく行財政運営

事業名	行政評価事業	担当課名	政策推進課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市が行う施策や事業を「市民にとってどのような成果を得られたのか」、「事業本来の目的をどれだけ達成できたか」という視点から評価・検証を行うことにより、限られた財源を有効に活用し、効率的で質の高い行政サービスを実現させることを目的とする。
(事業概要等)
令和4年度に実施した事務事業について、担当課長が事務事業評価シートにより自己評価を実施し、有識者及び公募市民によって構成される泉大津市事務事業評価委員会にて選定した事業について議論・評価を行い、各事業の改善を図った。地方創生推進交付金を活用した1事業についても、評価委員会にて外部有識者の意見を募った。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	69	81	81	122	
うち市負担分(千円)	69	81	81	122	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
1次評価における要改善、縮小、休止・廃止評価数 / 事務事業評価数	事業	25/207	36/210	61/207	83/207
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
事務事業評価においては、207事業の自己評価を行い、各事業の改善を図った。また、地方創生推進交付金を活用した1事業に関しても、評価委員会にて第三者の視点及び専門的な見地からの評価を受けることで、今後の事業展開の方向性を確認することができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	事業の課題点や改善点が一目でわかるように、評価シート様式の見直しを実施した。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	行政評価実施方法および集計作業など内部作業の効率化
--------	---------------------------

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	質の高い行政サービスを提供するために引き続き行政評価事業は実施していく必要はあるが、行政評価の実施に伴う各部局への負担が大きくならないよう、実施方法の効率化を図る。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営に基づく市民サービス	①行財政運営	4	総合計画に基づく行財政運営

事業名	総合計画策定事業	担当課名	政策推進課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
<p>現行の第4次泉大津市総合計画の計画期間が終了することに合わせて新たな総合計画を策定することで、総合的かつ計画的な市政運営を図ることを目的とする。</p>
(事業概要等)
<p>現行の第4次泉大津市総合計画は、平成27年度から令和6年度が計画期間であることから、令和7年度以降の新たな総合計画を、令和5年度から令和6年度の2カ年で策定する。</p>

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	0	12,538	14,109	
うち市負担分(千円)	0	0	12,538	14,109	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値

(指標を設定できない理由)

本事業は総合計画を策定するための2カ年事業であり、1年目と2年目で事業内容が異なるため。

(成果の概要)

本事業は支援業務を外部委託し、アンケート調査の集計・分析報告や市民ワークショップの企画運営を始めとした策定経過全般にわたってコンサル事業者の支援を受け実施した。市民参画の場として、市民アンケートを1回、市民ワークショップを4回、中学生ワークショップを1回などを実施し、市民の意見を総合計画素案へ反映した。市民ワークショップ参加者アンケートでは、参加者の94.7%が概ねその内容に満足しているとの回答であった。

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	令和5年度からの新規事業である。
--------------------	------------------

【事業の課題】

課題・問題点	総合計画は、まちづくりに関わる様々な主体が市の将来像を共有し、共にまちづくりを進めていくための計画であることから、広く市民へ興味関心を持っていただくことが肝要であるが、興味関心を持ってもらえる周知方法に課題がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	<p>市民ワークショップでは概ね満足度の高い結果であり、その他策定に向けた取組を遅滞なく実施できた一方で、その周知方法や興味関心を得られるための工夫を引き続き実施する必要があるため。</p> <p>市民アンケートではWEB回答を、ワークショップやシンポジウムの参加申込においてオンライン申請を導入する等のDX推進を図ることで市民の利便性向上に努め、総合計画への興味関心を高めるための動画作成等を実践する。</p>